



平成30年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社アゴラ・ホスピタリティ・グループ
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) クォック・ゲイリー・ヤン・クエン

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|--------------|-------|-----|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年12月期第2四半期 | 3,355 | 7.4 | 57 | | 201 | | 280 | |
| 29年12月期第2四半期 | 3,621 | 5.9 | 20 | | 31 | | 214 | |

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 194百万円 (%) 29年12月期第2四半期 240百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年12月期第2四半期 | 1.10 | |
| 29年12月期第2四半期 | 0.80 | 0.79 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年12月期第2四半期 | 17,773 | 9,206 | 45.0 |
| 29年12月期 | 18,141 | 9,456 | 45.3 |

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 7,991百万円 29年12月期 8,226百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年12月期 | | 0.00 | | 0.00 | 0.00 |
| 30年12月期 | | 0.00 | | | |
| 30年12月期(予想) | | | | | |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|-------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 7,500 | 1.4 | 290 | | 290 | 309.7 | 200 | 19.6 | 0.76 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年12月期の配当は未定とさせていただきます。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|-----------|---------------|-----------|---------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 30年12月期2Q | 281,708,934 株 | 29年12月期 | 281,708,934 株 |
| 期末自己株式数 | 30年12月期2Q | 27,763,761 株 | 29年12月期 | 27,763,760 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 30年12月期2Q | 253,945,173 株 | 29年12月期2Q | 270,007,269 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、安倍政権の内閣支持率が大きく下落し、景気の先行きについても心配されましたが、引き続き受注や設備投資等への期待がみとめられました。

当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の連結業績は、堅調なインバウンド需要を背景に宿泊事業を推し進め、大阪地域における宿泊部門は堅調に推移したものの、料理提供、宴会サービスを提供するホテルにおいてレストラン、宴会部門は伸び悩み、売上高では前年同四半期を下回る3,355百万円(前年同四半期比7.4%減)となり、営業費用の抑制に努めましたが、営業損失は57百万円(前年同四半期は営業損失20百万円)となりました。

営業外収益として5百万円計上した一方、為替差損として90百万円計上した他、当社の支払利息28百万円等を計上したことにより、営業外費用149百万円を計上したことにより、経常損失は201百万円(前年同四半期は経常損失31百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は280百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益は214百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

① 宿泊事業

堅調なインバウンド需要を背景に宿泊事業を推し進め、大阪地域における宿泊部門は堅調に推移したものの、レストラン部門、宴会部門は伸び悩んだこと、2018年1月に旧軽井沢ホテルの営業が終了したことにより売上高3,021百万円(前年同四半期比8.2%減)となり、営業利益は、28百万円(前年同四半期比57.2%減)となりました。

② その他投資事業

その他投資事業部門におきましては、霊園事業において現地通貨に対し円が弱くなったことに伴い売上高では前年同四半期を上回る334百万円(前年同四半期比1.6%増)となりました。また、住宅等不動産開発事業において修繕等の費用の抑制につとめ、営業利益は43百万円(前年同四半期比38.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2.0%減少し、17,773百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し、3,193百万円となりました。これは売掛金が111百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し14,580百万円となりました。これは、建物及び構築物が100百万円、のれんが72百万円、長期貸付金が45百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.4%減少し、8,567百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.1%減少し、2,427百万円となりました。これは、買掛金が100百万円、未払金が75百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.1%増加し、6,140百万円となりました。これは、長期借入金が137百万円、長期預り保証金が6百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、9,206百万円となりました。これは、利益剰余金が280百万円減少したことなどによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ84百万円減少し、1,288百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は9百万円(前年同四半期は40百万円の使用)となりました。

これは主に税金等調整前四半期純損失209百万円、減価償却費148百万円、売上債権の減少額111百万円、利息の支払額28百万円、法人税等の支払額32百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は31百万円(前年同四半期は155百万円の使用)となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出37百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は36百万円(前年同四半期は8百万円の獲得)となりました。

これは主に長期借入れによる収入113百万円、長期借入金の返済による支出96百万円、非支配株主への配当金の支払額42百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現在までの業績を踏まえ下期の業績を見直した結果、主力事業である宿泊事業において、売上確保に向け積極的な営業部門への人材投入に加え、営業費用の削減の取組み等により、下期において収益が回復し、概ね当初の想定通りの見込みとなっていることから、平成30年2月9日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。詳細につきましては、平成30年8月9日に公表いたしました「営業外費用の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,372,385 | 1,288,352 |
| 売掛金 | 420,438 | 308,616 |
| 有価証券 | 180,373 | 169,908 |
| 貯蔵品 | 77,488 | 65,175 |
| 開発事業等支出金 | 1,026,978 | 1,073,136 |
| その他 | 342,209 | 316,051 |
| 貸倒引当金 | △18,172 | △27,431 |
| 流動資産合計 | 3,401,701 | 3,193,809 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,513,696 | 3,412,870 |
| 車両運搬具(純額) | 17,224 | 8,901 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 102,713 | 93,068 |
| 土地 | 6,072,214 | 6,072,214 |
| 住宅用賃貸不動産(純額) | 2,760,460 | 2,749,257 |
| 建設仮勘定 | 3,350 | 14,687 |
| 有形固定資産合計 | 12,469,660 | 12,351,000 |
| 無形固定資産 | | |
| 商標権 | 2,801 | 2,549 |
| ソフトウェア | 10,145 | 8,611 |
| のれん | 1,706,594 | 1,633,665 |
| 無形固定資産合計 | 1,719,541 | 1,644,826 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 37,240 | 36,725 |
| 長期貸付金 | 423,523 | 378,371 |
| その他 | 90,235 | 169,150 |
| 投資その他の資産合計 | 551,000 | 584,246 |
| 固定資産合計 | 14,740,201 | 14,580,074 |
| 資産合計 | 18,141,903 | 17,773,883 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 311,890 | 211,485 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 782,105 | 762,120 |
| 未払金 | 928,610 | 852,790 |
| 未払費用 | 27,017 | 14,835 |
| 未払法人税等 | 81,200 | 27,590 |
| 賞与引当金 | 50,927 | 43,154 |
| ポイント引当金 | 427 | 210 |
| 資産除去債務 | 26,000 | 26,000 |
| その他 | 461,322 | 488,819 |
| 流動負債合計 | 2,669,500 | 2,427,008 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 5,439,788 | 5,577,719 |
| 長期預り保証金 | 530,431 | 536,802 |
| 繰延税金負債 | 267 | 742 |
| その他 | 45,321 | 25,057 |
| 固定負債合計 | 6,015,808 | 6,140,322 |
| 負債合計 | 8,685,309 | 8,567,330 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,534,406 | 8,534,406 |
| 資本剰余金 | 2,642,464 | 2,646,000 |
| 利益剰余金 | △1,857,181 | △2,137,469 |
| 自己株式 | △1,033,512 | △1,033,512 |
| 株主資本合計 | 8,286,178 | 8,009,425 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | △60,033 | △17,953 |
| その他の包括利益累計額合計 | △60,033 | △17,953 |
| 非支配株主持分 | 1,230,448 | 1,215,079 |
| 純資産合計 | 9,456,593 | 9,206,552 |
| 負債純資産合計 | 18,141,903 | 17,773,883 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 3,621,578 | 3,355,312 |
| 売上原価 | 2,541,232 | 2,384,648 |
| 売上総利益 | 1,080,345 | 970,663 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,101,264 | 1,028,325 |
| 営業損失(△) | △20,918 | △57,662 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 318 | 111 |
| 受取配当金 | 2 | 2 |
| 為替差益 | 23,424 | - |
| 受取家賃 | 1,927 | 2,720 |
| その他 | 14,841 | 3,013 |
| 営業外収益合計 | 40,515 | 5,848 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,973 | 28,430 |
| 為替差損 | - | 90,849 |
| 資金調達費用 | - | 15,786 |
| 持分法による投資損失 | 17,373 | 11,869 |
| 開業費償却 | 6,073 | - |
| その他 | 7,335 | 3,025 |
| 営業外費用合計 | 50,755 | 149,962 |
| 経常損失(△) | △31,159 | △201,775 |
| 特別利益 | | |
| 新株予約権戻入益 | 1,955 | - |
| 受取補償金 | 267,377 | - |
| 賃貸借契約解約益 | 51,936 | - |
| 特別利益合計 | 321,269 | - |
| 特別損失 | | |
| 事業撤退損 | - | 7,253 |
| 特別損失合計 | - | 7,253 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 290,110 | △209,028 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 41,321 | 28,038 |
| 法人税等調整額 | △1,342 | - |
| 法人税等合計 | 39,978 | 28,038 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 250,131 | △237,067 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 35,156 | 43,220 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 214,974 | △280,288 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 250,131 | △237,067 |
| その他の包括利益 | | |
| 為替換算調整勘定 | △9,622 | 42,080 |
| その他の包括利益合計 | △9,622 | 42,080 |
| 四半期包括利益 | 240,508 | △194,986 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 205,351 | △238,207 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 35,156 | 43,220 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 290,110 | △209,028 |
| 減価償却費 | 148,433 | 148,305 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 8,257 | 9,259 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 29,862 | △7,772 |
| ポイント引当金の増減額(△は減少) | △112 | △216 |
| 受取利息及び受取配当金 | △321 | △114 |
| 支払利息 | 19,973 | 28,430 |
| 為替差損益(△は益) | △22,526 | 94,404 |
| 持分法による投資損益(△は益) | 17,373 | 11,869 |
| 受取補償金 | △267,377 | — |
| のれん償却額 | 72,928 | 72,928 |
| 繰延資産償却額 | 6,073 | — |
| 新株予約権戻入益 | △1,955 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 36,153 | 111,820 |
| 営業投資有価証券の増減額(△は増加) | 6,867 | 10,464 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 19,804 | 12,313 |
| 開発事業支出金の増減額(△は増加) | △77,504 | △65,470 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △86,437 | △98,587 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △138,130 | △12,488 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | △140,194 | △54,025 |
| その他の固定負債の増減額(△は減少) | △10,279 | △10,278 |
| その他 | △18,876 | 9,210 |
| 小計 | △107,877 | 51,025 |
| 利息及び配当金の受取額 | 321 | 114 |
| 利息の支払額 | △18,565 | △28,534 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 85,374 | △32,424 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △40,747 | △9,818 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △158,028 | △37,463 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 5,601 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,260 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 4,077 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △155,211 | △31,862 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | — | 113,975 |
| 長期借入金の返済による支出 | △96,872 | △96,052 |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入 | 133,750 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △25 | △0 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △28,310 | △42,417 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | — | △12,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 8,541 | △36,494 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △490 | △5,866 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △187,907 | △84,041 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,358,307 | 1,372,550 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,170,399 | 1,288,509 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 宿泊事業 | その他投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,292,910 | 328,667 | 3,621,578 | — | 3,621,578 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,292,910 | 328,667 | 3,621,578 | — | 3,621,578 |
| セグメント利益 | 65,958 | 31,749 | 97,708 | △118,626 | △20,918 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△118,626千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------|-----------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 宿泊事業 | その他投資事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,021,253 | 334,058 | 3,355,312 | — | 3,355,312 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 3,021,253 | 334,058 | 3,355,312 | — | 3,355,312 |
| セグメント利益 | 28,249 | 43,806 | 72,055 | △129,718 | △57,662 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△129,718千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。